

刊夕日六十月七

常警每日新聞

定価 一部金五銭 一月五拾銭 郵費五銭
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日印刷株式会社
 電話 六二〇〇
 社址 平町三丁目

書道について

S R 生

近頃、書道といふことが盛んになつたことは喜ぶべき風調である。泰東書道院東方書道會、美術協會は代表的な書道會である。其他斯道の勇者を以て任ずるものは、その門人を中心としての會を造つてゐる。書道の雑誌も東京だけで十を以て數へるほどある。これから見ると、今日は書道の盛時といつてもよいであらうその衰退した時代の事を思ふと劃世の感があるが、しかし私はどの展覽會を見ても等しく飽足なく思ふことがある。それは何かといふに模倣の多いことである故人の糟粕を嘗めるものゝ多いことである、何等特色のないことである。蓋し人間はその指紋の異なるやうに肉體が異なり、年齢が違ふ。従つて書そのものも異なるべきである。

然るに書道では漢字なれば六朝以來王羲の又はその流を汲むものでなければならぬとされてゐる。然し支那の書道の歴史を見ると王羲之が中心であるかも知れぬが、その外にもあり、千變萬化、甚だ面白い。然る

に日本の書道は皆模倣で出来てゐる。巖谷一六先生の全盛時代には教科書まで一六風、その後下部鳴鶴翁の時代には誰も彼も鳴鶴流一人の勇者が出れば日本全體皆それを模倣するといふのである。勿論初学者なれば臨書も必要であらう。しかし誰も彼も同じであるこ

U O O O O O O O O O O O

明日の献立

朝味噌汁 豆腐

煮豆

煮付 金平ごぼう

小皿 のり佃煮

魚のフライ 野菜サラダ (トマト胡瓜)

ブレンチドレッシング

とは甚だ寂寥を感じしむるものである。その藝術が活氣もなければ元氣もない、單調な感じを與へることを免れない。

これはわが國の假名に於いても同じ感じがある。假名も漢字の變化であるが、支那の漢字そのまゝでなく、日本で發過したものであるところに漢字以上の期待を持つことが出来る

古來假名でいへば、道風、佐理、貫之、行成等の大家があり、これらの人等が工夫考案して日本特有の假名文字の發達を遂げしめたの



短歌

野道

木津茂太郎

ある時は人無き山に登り
 ゆき青き海をばはるかに
 戀ひぬ

わが友よ君とふたりでみ
 どり濃き日々を越え道に
 迷はん

過ぎし日の數多の人よ今
 はたゞ思ひ出となる寂し
 さことかな

知る人の狂へりといふ
 わさ聞く哀しきかもよ云
 ふべきことなし

朝霧のたなびきわたる野
 の道をあゆむ乙女の長き
 振袖

君は去り遠き越後へ君は
 去りもはや美しき人をわれ
 は見ざらん

喧騒の都を離れつゝ、咲
 く里に住みをる清らけき
 友

ウワツハツハツ
 生の旨さを知らずに
 ビールを語るなんて?
 例年の通り生ビール賣出し
 キリンビール仙臺工場直送
 ……(毎日午後三時着荷)……
平會館
 洋食ハ

専門
産婦人科
花柳病科
 ◎入院隨意
井坂醫院
 平町田町 電話五五九番

和漆器と家具は
 平町三丁目
和全屋
 電話五〇五番

吉田眼科醫院
 平紺屋町 電話六八番
 醫學士 吉田久雄

品自慢と
 正直な値段
 自轉車・リヤカー
フタバ商會
 新川町郵便局前

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番

是非!
 御融通には御用命下さい
 萬事便利な御相談に應じます
三井質店
 平・四 電六〇六番

毎度御引立を戴いてゐる
 藤寅では例年通り
 冷たい美味しい飲物
 アイスクリーム、アツキアイス
 ミルクゼーキ、ソーダー水
 ミツ 豆、クリームソーダ
 其他水水各種
 相初めました。是非夏の夕の御散步歸へりに御立寄り下さい。
 平一丁目
藤寅
 電話一四一番

保険料低下の

成行は如何に?

▽...保険協会の一行が

▽...歸仙して議を纏める

【既報】平町の火災保険料率引下げ陳情に對して昨十五日午後十二時四十分東京火災保險仙臺支部長清水隆入大正海上火災保險仙臺支部長小盛敬敬兩氏が來平、井上消防組頭その他の案内で消防施設、建物、道路、並に水道の淨水池、排水池等を詳細に視察、湯本町に向つたが同一行は明日中には歸仙して、仙臺支部に於

〔同調査に基き協議を遂げた上東京の保險協會に上申平町が希望する千分の七(現在千分の十一)の料率に就き何等かの回答を見ることとなる譯であるが〕

同調査員一行は前記視察の外に消防組の實演並に少年消防隊の活動等を見て居り今後の成行を注目されてゐる

經濟更生の實績

昨日委員が參集研究

經濟更生聯合會石城支部第一回總會は昨十五日午前十時から大浦小學校で開き、郡下經濟更生指定村十八ヶ村から二百餘名出席、木村支部長の開辭あつて第一回指定村として逐年好成绩を擧げつゝある大浦村の更生實績の説明あり休憩、午後から更生計劃樹立に關して質問批評等を重ね同三時閉會した

夏蠶豫想

五圓臺突破か

郡下の夏蠶は早いので目下二眠中で八月一日頃から

大浦俵米入札

信用組合は昨十五日俵米三百俵の共同販賣を行つたが建値一俵十二圓四十六錢で入山炭礦に落札した去る十一日平農倉の共販に比し九錢の値下りである

總鐵骨の選炭場

一日千五百噸を選別

▽...古河炭礦の新施設

好間村古河炭礦では舊堅坑前に工費廿萬圓を投じて新設中であつたがこの程竣功作業を開始したが同建物は總鐵骨製で一日千五百噸を選別する能力を有する獨特の設計に依つたものである

水戸運輸事務所長古谷善亮氏は来る十七日平驛に初巡視を行ふ

産組實務講習

五月十五日から七月十四日迄縣廳に開かれた産實組務講習會の郡内受講者は勿來下山田甚次郎、植田鷲清、一倉長谷川儀平の三氏

磐中指導

フアン待望の縣下中等校野球大會の一週に迫り磐中、平野、野球場は連日の猛練習の結果完全にAクラスに入つたものと見られてゐるが磐中野球部は更に萬全を期し目下早大の池田野球部員を返へ最後のコーチを受け

磐女水泳講習

豊間濱の豫定 磐女は今夏休みに例年の如く水泳講習會を開く事になり目下プラン作成中であるが場所は大體豊間村海岸の豫定である

電話交換調査

逕信 省工務局技手栗飯厚清氏は今十五日平郵便局の電話交換施設に就いて調査を行つた

警中教諭出席

山路教諭は来る二十一日から第四高等學校に開かれる文務省主催の數學夏季講習會に出席するが同校柴田教諭も二十一日から東京美術學校に開かれる同圖書講習會に出席すると

平町人事

結婚 好間村大字上好間字忽骨

回婚

△好間村大字上好間字忽骨

五〇前松鏡氏(二六)仲間町六六石田トミさん(二一)

平職業紹介所報告
回人を求める方
△女中 廿五才迄 尋卒 給五圓
△出前持 廿才迄 給五圓
△石版印刷工 廿五才 高卒
△コック 廿四才 尋卒
△サイドカー運轉手 卅才 尋卒
△見習看護婦 廿三才 高卒

時計



高橋時計店
平町二丁目
・小役員募集委細面談。

店主が店員	を連れて行	か	正	正	正
れる	い	い	い	い	い
酒	喫	食	酒	喫	食
場	茶	堂	場	茶	堂

平・田町
レストサロン
電三五二番

夏の御飲み物

アイスクリーム
ミルクセーキ
ソーダ水 色々

アツキアイス
別味 みつ豆

例年通り始めました
ほどよく香のよい宇治名産氷挽茶、御土産に好適なクリームモナカも御座います。

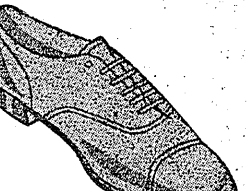
平二警察署裏通り
魚清食堂
電話六三三

格安

紳士靴
婦人靴
學生靴
夏向白靴

各種取揃へてあります
●自製注文靴は品質吟味...
期 日迅速に...
御用命の程を...

電話 六五九
菊地靴店
平四 マルトモ内



鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男
平町田町 (電話五八番)
藤田女學校前

耳鼻咽喉科専門

自然のお需めに應
入院の便あり

朝鮮銀行の株券を

抱いた儘行方不明

五十株を抵當に十圓借用

其後の足どりが判らない

東京市淀橋區一丁目五三株式ブローカー池田正一(一〇)は本月初旬同市芝區濱松町二丁目九株業小林正雄氏から朝鮮銀行株券二百株(一株拂込金二十圓)の賣込を依頼されて來郡、その後賣込困難と稱して百株を依頼者に返送したまゝ行方を晦ましたので被害者からの訴へに依り平署で調査した處池田は残る百株のうち五十株(額面千圓)を抵當に

湯本町某氏から金十圓を借用した事實が判明その後の足取り並に残る五十株の處分は不明であるが、曩に賣込不能と稱して百株を返送して居りその後百株の賣上に狂奔するうち生活費に窮して抵當にしたものとも見られてゐるが残る五十株の處分が池田の行方不明で判明せぬため平署で捜査を續けてゐる

一足飛びに

白熱の夏!

暑さに馴れぬ

人々ウンザリ

デメくした長期の入梅に閉じ込められた平地方も昨十五日からいさなり真夏の暑さに飛びこんで未だ完全な暑さに馴れない人達をウンザリさせてゐる、神谷農試分場の温度調査に依ると十四日迄攝氏二十八、九度であつたのが昨五日の最高温は三十度二分、華氏で實に八十七度と云ふ猛烈さだ、引續いて今日の暑さは

午前十時既に昨日の最高温と同じ攝氏三十度二分で午後三時頃迄には二三度昇るとあるがこの俄かに來た暑氣にいさゝかタヂの態である

同僚の

行李から盗む

小名濱町字後場窃盜前科二犯崎村正太郎(二)は去る六日早朝勿來町字出倉大日本



今晚も明日も南の風時々薄曇り

明日のラジオ

今晩の部
後六、〇〇 お話「水泳が上手になる法」松永正雄
後六、二五 夏山を語る座談會 中村左衛門太郎
中川善之助 水口孝一
下山富雄 木村愿
後七、三〇 講演「物語し

た明治俳壇の人々」河東碧梧桐
後八、〇〇 劇物語「三題」谷天郎他
後八、三〇 寄席中繼 圓藏 小圓 文治 貞山
(神田立花演藝場より中繼)
後九、三〇 時報 ニュー

明日の歴史 齋藤 氣象通報
告 明日の部
前六、三〇 國語講座(終) 佐伯常隆
前七、〇〇 朝の修養「碧巖録」伊藤道海
前八、〇〇 「香と人生」篠崎英之助
後八、〇〇 トーキョー中繼「戀の歌」銀座教文館ビル RKO 試寫室より
後八、三〇 國民歌謡「椰子の實」東海林太郎
後九、〇〇 婦人講座「短

歌と俳句の味ひ方作り方 水原秋櫻子
後六、〇〇 ラヂオスケッチ「防空」東京コードモングループ
後六、二五 英語講座(終) 鹽谷榮
後七、三〇 講演「義務教育年限延長に就いて」山本文部政務次官
後八、〇〇 浪花節「おも」と宮松一 歌島大藏
後八、三〇 歌謡曲 勝太郎
後八、四〇 管絃樂「近代及現代音樂」日響

鰐ヶ淵に

屍体二つ

公金を費消し

少年同性心中

十六日午前零時半頃久之濱海岸鰐ヶ淵に少年二名の溺屍体浮き上れるを通行の漁夫が発見した、右は遺書に依り平町紺屋町嘉吉次男某公衛給仕根本定義(一)同仲間町彌一郎三男某公衛人夫柴澤光雄(二)の屍体と判明したが兩名は去る九日某公衛の公金二百五十圓を拐帶逃走し新田町の大盡遊びで費消し盡し同性心中を遂げたものであると

村の紳士の

假面をはく

平署が容赦なく

掃蕩の手を伸ぶ

今までは謂ゆる街の紳士の悪事が目に餘つてその筋の活動檢舉となつたが近年は到る處の農村にも各種の産業團體が設けられそれ等の

溺れた幼児の屍体

水泳に出掛けた大人が発見

湯本町字八仙五四爲保二男鈴木保次(七)さんは十五日午前十一時四十分頃自宅より五丁餘離れた湯川で水浴中、八尺の深みにはまり、溺死し居るを同日午後三時頃水浴に行つた同地先理髮業本田豊次(三)さんが発見平署で検視した

新舞子へ

耐熱行軍

平第一校は来る二十二日新舞子方面に全校児童の耐熱行軍を行ふと

泉驛貨物隆盛

常磐線泉驛は近來貨物の移出入

裁判一束

既報飲酒中同居人を酒徳利で毆打重傷を負せ清田検事から懲役八ヶ月を求刑された好間村大字中好間字町田三六前科五犯無職岡部茂(三)の判決公判は今十六日午前十時から平區で西裁判事係りの下に開廷されたが求刑通り懲役八ヶ月を言渡された

吉田科醫院

平町紺屋町

十圓の金券を抜き取り悠々と常陽銀行平支店から拂下げ着服素知らぬ顔で出務中遂に逮捕され埼玉縣秩父郡秩父町大字大宮生れ同縣浦和市字綱ヶ窪一、三六九居住東京營林局雇深田光太郎(四)は其後平檢事局に於て清田検事取調中の處今十六日窃盜、公印及公文書偽造行使罪として起訴平支部の豫審に廻された

繞る瓦解の分

(上巻) 悟道軒圓玉(作) 尾・室陽(書)



一七二 いよ／＼開戦

池田大隅守は天璋院様、静寛院の宮様よりの使者服部筑後守及一色純一郎の申すを聞いて

大「仰せの次第たしかに承はりました、御慈悲深きその御意のほどかたじけなく御禮を申し上げます」

筑「しからは官軍に降伏なされるか」

大「イヤ、御意のほどはかたじけなく存すれどこの場にのぞみ降伏いたすことはなかりがたし、この儀よろしく御披露ください」

ときつぱり答へた、兩使は池田の顔を見まもつてゐる、大隅守はなほも言葉を

つぎ

大「筑後共も一色殿も定めしお聞きなされしことは存するが、先達て山岡鐵太郎まかりこしわれわれ共この山に屯集いたし居るはおだやかならざることなれば解散せよ——これは總督府よりの内命によつてこのことを申し入れるといはれたが、よし無謀の擧にもせよ無名のためかひにもせよ武士たるものが眼前に敵を置き一戦もいたさず降参なすは武道の恥辱、静寛院の

宮様また天璋院様の仰せ御もつとも至極、しかしたゞ今申し述べしごとく武士としての一さへもいたさずこの山を降つて官軍の軍門に頭を垂れることはなり申さぬ、御厚情にそむくは甚だ本意なることにはござる



が、このことよろしくお二方様に御披露くださるやう雨中と申し今や砲火を交へむとするこの時御使者としてこれまでお越しなされた御兩所の御厚意も忝じけのう存すれど、さて、武士はつらきものでござる」と申した、そこで服部筑

後も一色純一郎もむなしくこゝに居る。大隅守の部下の兵がつかさうて黒門にまで進軍した。兩使はそのまゝ甲安邸に引きあげた、當時静寛院の宮様も天璋院様もここにおいでになる。さて兩使が引き取ると間もなく戦ひになつたこの少し前に本郷の切り通し邊へ視察に参つた彰義隊の中川爲吉に岡島藤之丞は官軍に狙撃され、中川は右の足をうたれて歩むことが出来ぬこれを荷いて岡島は本營まで引きあげて来たが

「戦ひにならぬ前に怪我をするとは気が早いな、しかし立派なことだ、とうだ中川足は痛むか」
中「イヤ痛まぬが何となくビクビクする」
「さうか、そんなことにおどろいては大軍を相手に戦ふことは出来まい怪我だと思ふな蚊にさされたと思へ」
「いつた途端にドドーンと響渡る砲聲、ワーツといふ関の聲
○「初まつた〜」
丸「黒門か」
ドドーンビューツと頭の上でうなりをあげて砲弾が飛んで行く、これを聞くと右の足をいためてゐた中川爲吉が、刀を引を抜き黒門口をさして驅出した、氣の立つて居る時は實に不思議です、この怪我をわすれてしまふ、かふいふことはよくあります。豊太閤が朝鮮へ兵を出した時に蔚山に籠城した淺野幸長が明兵のために股を射たれた戦闘中とて薬をつける間もないから土を取つて傷口に押し込み晒木綿でまいておいた。戦ひすんで日本へ歸つて来た時にこゝに傷をうけたことを忘れてゐた、と翌年の三月何となく股がむづ／＼するから何うしたかとよく見ると草が生えてゐた、これは土を入れたから草が芽を出しその上黄色な花をひらゐたといふ説がある。眞偽は判りませんがこんな話も残つてゐる、それですら中川爲吉が駆出したはもつ

岡「いよ／＼官軍が押しよせて来るぞ、大分本郷邊に居るやうだ、吾々が切り通しまで参ると發砲したが御覽のごとく中川は足をやられた」
「いつたがこの時本營につめてゐた丸手鞆負がこれを聞いて

とも、ところでこの黒門の戦ひが上野戦争中もつともはげしかつた。

美味！
芳醇！

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

市原醫院
平町・四町
電話一四番

貝焼
美味 鰹鹽から
当店特製 鰹節



榮盛賀志
番三一二話電 目丁四平

齒科口腔外科
レントゲン科

院長 東京齒科 原 精一

原齒科醫院

平町土橋通り
電話三一〇番

時代の要請は、後の足！！

尼子タクシーへも

「豆タクが入りました
御立關から立關へ……迅速簡便
是非御利用を……」

市内……三〇銭 南外……四割引
流線型セダン 大型貸切バス

宮行——直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします

平町二丁目
尼子自動車商會

電話六四〇番